

2021年11月25日（木）  
第2回「地域に合った移動の仕組みづくり」シンポジウム  
於 トヨタ自動車(株) 東京本社

# 本助成事業から 得られた知見について



合同会社

おでかけカンパニー

(名古屋大学 客員准教授)

福本雅之

*fukumoto@odekake.co.jp*



公共交通トリセツ

地域公共交通のトリセツ（取組説明書）はじめました！

<https://text.odekake.co.jp/>

1

移動に関する課題の設定

2

課題を抱える人の量と質の把握

3

サービスの設計

4

事業の組み立て

5

サービス提供を継続するために

6

まとめに代えて

## 問題 ⇔ 目的

【問題】 若者の流出が止まらない

- 雇用の場がない : 産業
- 結婚相手がいない : 社会
- 高校に通えない : 交通

【目的】 若者が定住できる地域を目指す

## 課題 ⇔ 目標

【課題】 高校に通えない

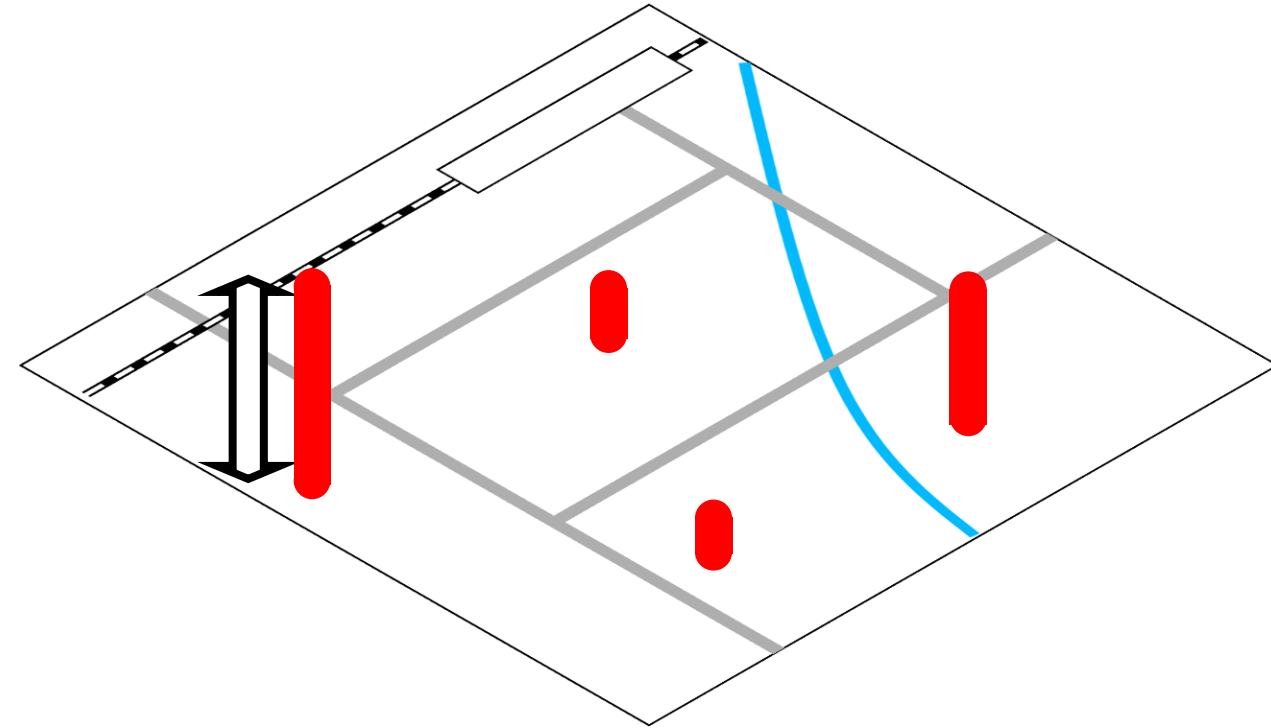
- バスの廃止後、送迎の負担大
- 進学を契機に転居が増加

【目標】 高校に通えるようにする

## 取り組み

高校へ行く交通手段を作ること、  
高校生の流出を減らす

|   | 目的             | 調査法  |
|---|----------------|--|
| 量 | 潜在的な利用者数の概数の推計 | <ul style="list-style-type: none"><li>□ 統計データ</li><li>□ 住民アンケート（選択式）</li></ul> |
| 質 | 個別の事情の把握       | <ul style="list-style-type: none"><li>□ 住民アンケート（記述式）</li><li>□ 聞き取り</li></ul>  |



量と質の両面から移動の課題を立体的に把握

サービスの仕様

ニーズを満たす = 課題をどう解消するか  
そのための手段や技術を選択

活用できる資源

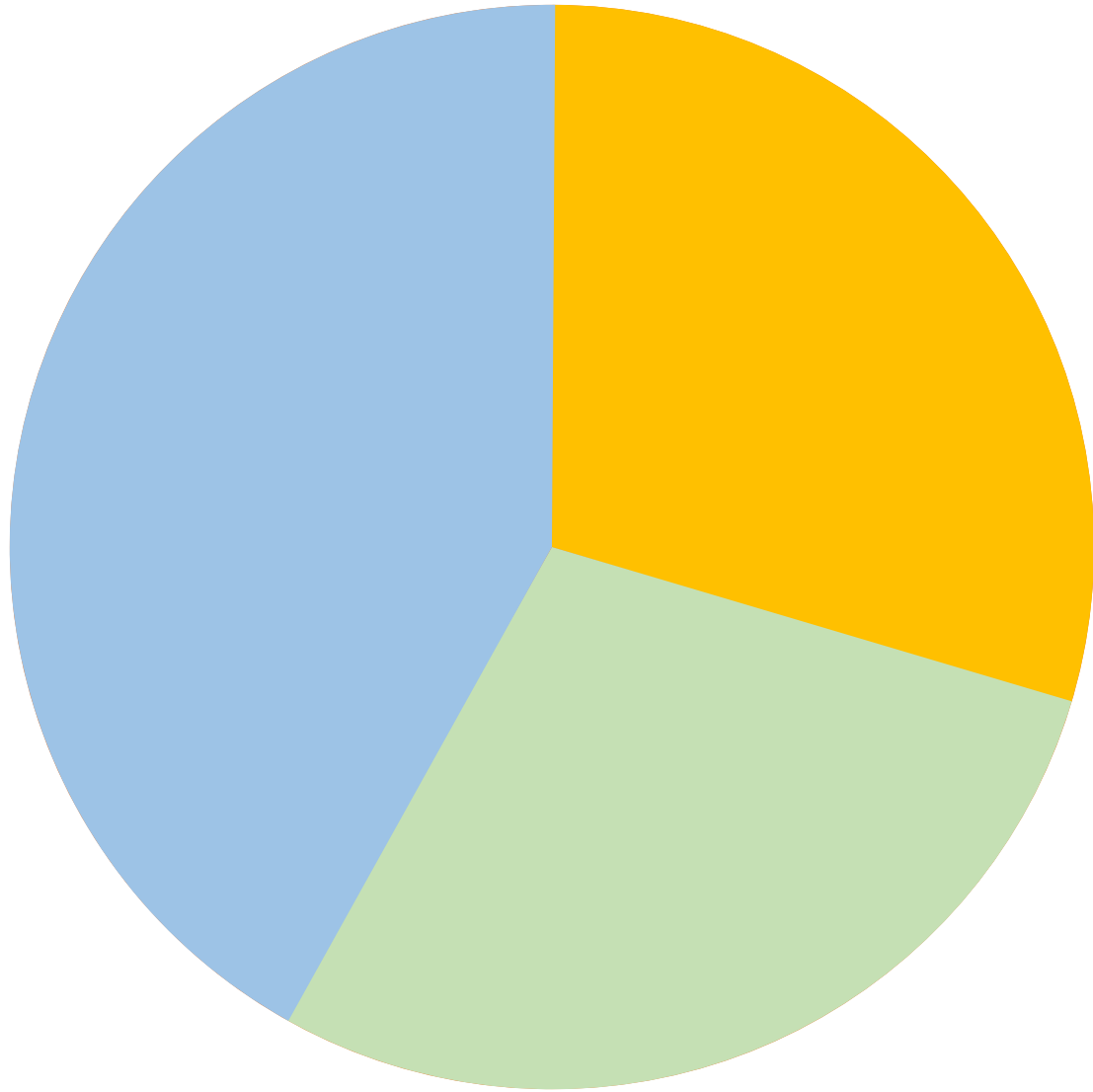
車とドライバーの確保  
多様な参画の形

制度や規制のクリア

道路運送法や介護保険等の制度  
専門家の活用によるトラブル回避

実施する取り組み形態

ニーズ⇒サービスの流れ  
シーズから始めるとうまくいかない！



### 費用の積算

= 円の大きさを決める

### 収支見通しの作成

- ・ 目標収支率
- ・ 目標利用者数
- ・ 価格設定

のバランスを取る

## 評価の視点2つ

- ① 目標の達成状況
- ② 事業継続の可否

## 評価は改善のため

失敗することはある

失敗から学んでやりなおせばよい

- 誰のために取り組むのか？
- 多くの人に協力してもらうには？
- 地域での合意形成のためには？
- 利害の対立する相手に納得してもらうには？



**キーワードは「共感」**

相手に寄り添って考える

自分の思いを理解してもらう